

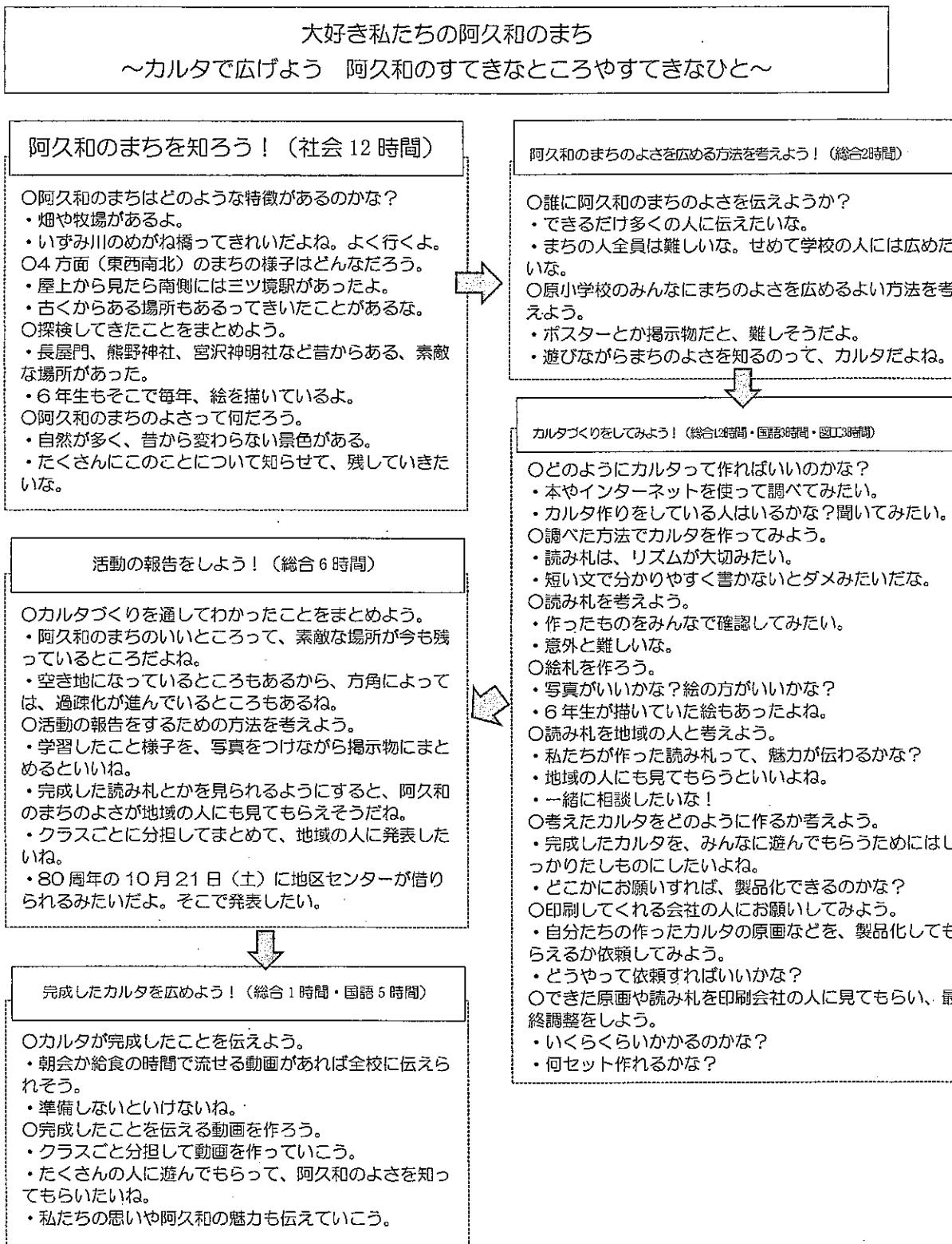
景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立原小学校

① 学習指導案

プログラム	プログラム No.5 「 地域カルタをつくろう 」
単元名 (全40時間)	大好き私たちの阿久和のまち ～カルタで広げよう 阿久和のすてきなところやすてきなひと～
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・まち探検を通し、自分たちのまちのよさを知ることで愛着をもち、大切にする心をもつ。 ・カルタづくりを通して、その道の職人や多くの大人と関りをもち、ものづくりに対する関心をもつ。
学習内容	1 阿久和のまちを知ろう！（まち探検） 2 阿久和のまちのよさを広める方法を考えよう！ 3 カルタづくりをしてみよう！ 4 完成したカルタで遊んでみよう！
参考資料 準備品 実施場所等	参考資料（文献） 国土社 かるたをつくって遊ぼう！2 オリジナルかるたをつくってみよう 日本郷土かるた協会／監修 原口 美貴子／著 準備品：瀬谷カルタ ※子どもたちがカルタに興味がもてるようにするためのもの 学習場所：各教室 ・ 学年で行う場合は体育館

学習の流れ

単元構想図



② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立原小学校

時間数	教科	概要	教師の指導・手立て
12	社会	<ul style="list-style-type: none"> ○阿久和のまちを知ろう！ <ul style="list-style-type: none"> ・まち探検を通して、4方面の学区にある建造物に視野を向ける。 ・建造物や自然の風景の中にたくさんのおすすめの場所があることに気付く。 ・たくさんの人にまちのよさを知つてもらいたいと意欲をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を用意し、景色や建造物を写真におさめられるようにする。 ○学級ごとにまち探検をするが、学年で視点がばらけないように、実行委員を立ち上げ、各クラスの状況を把握できるようにする。
2	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○阿久和のまちのよさを広める方法を考えよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・どのような方法がまちのよさをたくさんの人人に広められるのか話し合う。 ・活動の計画を立てる。 ・活動のゴールを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学年で集まり、どのような方法がいいのか意見を出し合いながら、合意形成を図る。 ○方法が決まったら、計画とゴールを学年全体で作成し、共有する。
12	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○かるたづくりをしてみよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・かるたの作り方を知る。 ・かるたの読み札がどのようなものなのか確認し、短歌の学習を参考に読み札を作る。 ・撮影した写真をもとにしながら、水彩絵の具を使って絵札を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いくつかかるたを用意し、読み札や絵札のイメージをもてるようとする。
3	国語		
3	図工		<ul style="list-style-type: none"> ○国語の短歌の学習をつなげることで、読み札のリズムが自然とスムーズになるように指導する。
6	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の報告をしよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・かるた作りをして、地域の実情を確認する。 ・活動報告の仕方を考える。 ・80周年行事に向けて、掲示物の準備をする。 	
1	総合	<ul style="list-style-type: none"> ○完成したカルタを広めよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・完成したかるたを学年に応じた説明の仕方や内容で発表する。 ・発表原稿ができたら、動画撮影をし、全校児童に見てもらう。 	
5	国語		<ul style="list-style-type: none"> ○国語の学校自慢の学習とつなげることで、まちのよさを伝えるための方法を知り、その方法を用いて発表できるように指導する。

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・学級ごとに活動を進めていったため、進度の差が出てしまうため、実行委員を立ち上げながら常に情報を共有していった。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・複数の学級を横割することなくクラスごとの活動にしたため、進捗状況を常に確認しながら学習を進めていかないと進度の差がついてしまった。
- ・商品化するために想定していたよりも金額が高額になってしまったため、イメージ通りに作成することができなかった。

(3) 児童の反応

- ・自分たちで実際にかるたを作る（商品化）できることに最初は半信半疑ではいたが、少しづつ作業が進むにつれていいものを作りたいと、気持ちを変化させていた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・本学習を通して、総合的な学習の時間の進め方や学習の進め方の難しさを味わうことができた。
- ・本事業の目的でもあるように、学区内にたくさんの残したい景観がたくさんあることに気付くことができ、この活動だけでなくこれらの学習にも関連付けていけるようにしていくたい。

(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]

- ・今回作ったかるたを通して、たくさんの児童に遊びながらまちのオススメの場所を知りながら、その景観のよさを残していくたいと思う児童を増やすことで、郷土への愛着がもてるようにしていけるように活用していく。